

川越市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和3年度(2021)～令和12年度(2030)

しんがしがわ

川越市は、江戸城北の守りとして、代々有力大名が配されてきた。また、新河岸川舟運により物資の集散地として小江戸と呼ばれるほどの繁栄を築き、明治26年(1893)の大火の後に蔵造りの町並みの形成に至った。さらに、天海僧正ゆかりの喜多院をはじめとし、多くの社寺を中心として独特の門前の賑わいも創出してきた。近代以降も、城下町の景観や構成に大きな変化はなく、現代に至っている。この城下町に住まう町方、職方、在方が一体となって行われる川越まつりは、蔵造りの町並みを絢爛豪華な山車が曳き回される、町を挙げての一大イベントである。これらの、ひと、まち、行事が一体となった歴史的風致は、川越の良好な市街地の環境を形成している。

川越まつりにみる歴史的風致

川越まつりは、城下町川越の総鎮守である川越氷川神社の例祭を起源とし、祭り神事に町方の祭礼行事を加えたもので、江戸「天下祭」の様式や風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として、城下町の繁栄を担った川越の人々により370年の時を超えて守られ、川越独特の特色を加えながら発展した。歴史的な町並みを舞台に、豪華な山車が曳き回される伝統行事は、山車持ち町内だけでなく、周辺地域の市民や観光客にも親しまれている。



川越まつり
(川越氷川祭の山車行事)

物資の集散と商業都市川越の発展にみる歴史的風致

米穀や織物を中心に発展した商業は、県内初の銀行創設に始まり、現代に至る様々な産業と、蔵造りの町並みや洋館など、それぞれの時代を象徴する歴史的建造物とともに、川越商工会議所や川越一番街商業協同組合という商人町川越を引き継ぐ組織活動の中で、老舗の商売の継承や夏の川越百万灯まつりとして、また、川越商人のシンボルである時の鐘の音が届く範囲で受け継がれる商いの時間として、歴史的風致を形成している。



川越商工会議所
(登録有形文化財)

寺社門前の賑わいにみる歴史的風致

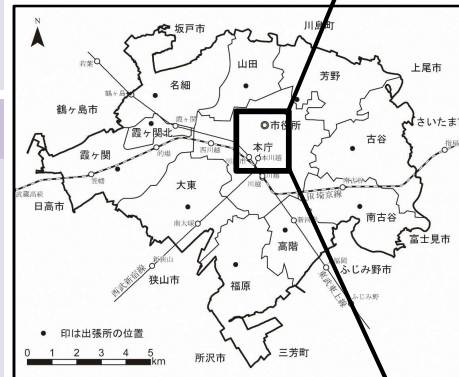
門前町は、表通りの余所行きの顔とは異なり、飴菓子や焼き団子、うなぎの匂いが漂う庶民的な場所であり、懐かしい佇まいが訪れる人々を引き付けてやまない。料理店として愛される妓楼建築や昭和初期の建物が残り、いくつもの時代を古刹と共に乗り越えてきた門前の賑わいが、歴史的風致として息づいている。



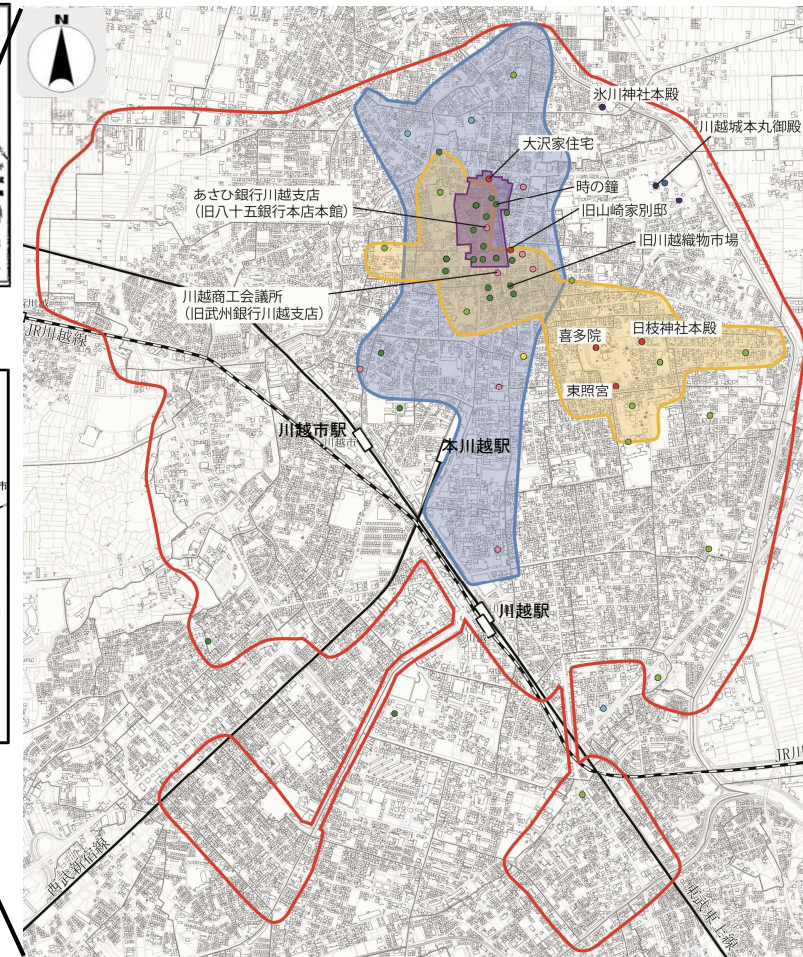
喜多院界隈の町並み



埼玉県全域図



川越市全域図



川越市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
川越市歴史的風致維持向上地区
約225ha

重点区域において、第1期計画期間に完了しなかった文化財の保存整備及び周辺環境の整備を実施するとともに、歴史的建造物の保存整備に対する助成を引き続き行うことで歴史的風致の維持向上を図る。また、歴史的建造物再生・利活用のマネジメントサイクルを構築し、歴史的建造物を適切に保存し後世に継承するとともに、利活用と流通を促進することによって歴史的風致の維持向上を図る。

④旧川越織物市場整備事業

文化財としての復原を行うとともに、建物を生かすため、若手のクリエイターが創業支援を受けながら一定期間制作活動を行う文化創造インキュベーション施設として活用するための整備等を行う。

事業完成イメージ図▶



歴史的地区環境整備街路事業

(⑨立門前線・⑩同心町通り線・⑪連雀町新富町通線)

石畳風舗装などの道路美装化により、歩行者の安全性を考慮しつつ、回遊性を高めるとともに、歩いて楽しめる界隈づくりを図る。

⑤川越市蔵造り資料館耐震化事業

解体の程度や修理方法などの検討・事前調査を実施し、保存修理及び耐震化工事を行う。

川越市蔵造り資料館▶



伝統的建造物群保存地区に関する事業

- ②伝統的建造物群保存地区保存整備事業
- ⑬伝統的建造物群保存地区景観補助事業
- ⑭伝統的建造物群保存地区保存活動事業への補助事業

建築物等の修理や修景行為に関わる費用に対する補助及び保存活動事業に寄与する団体に対して補助する事によって、伝統的建造物群保存地区の歴史的風致の維持向上を図る。

川越市川越伝統的建造物群保存地区▶



⑦歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築

歴史的建造物の所有者、民間事業者及び行政の緊密な連携のもと、未活用の歴史的建造物の健全な保全を図ったうえで流通の促進及び利活用を進め、さらに包括的な施設の管理・運営を行い、事業の経済活動の中から資金を確保する仕組みの構築を行う。

令和2年度のワーキングスペース実証実験の様子▶

